

平成 29 年度 家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」 (実教出版)						
副教材等	子どもの発達と保育 学習ノート (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ”・子どもの発達と保育について 2 年間にわたって学習します。2 年では受胎から乳児を中心とした学習内容を学びます。
- ・実習を通して、子どもの衣服や生活と養護を確認していきます。積極的に取り組みましょう。
 - ・親子交流実習・施設見学を通して、乳児の観察を行います。意欲的に参加しましょう。”

2 学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生き育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見出し、思考を深め、適切に判断し、自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったこと、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作計画、 実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月～5月	子どもの発達の特徴	学習の意義や内容、座学や実習の方法、評価方法の理解 ・子どもの発達 ・乳幼児期の特徴				○	a. 人間の発達に関して興味・関心を持ち、特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとしている。 b. 現代における発達観を踏まえて、自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる。 c. 乳幼児に適した被服の素材・型・サイズ等について、情報を収集し整理し、適切な衣生活の計画ができる。 d. 乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。乳幼児に適した被服の素材・型・サイズを理解している。	授業観察 ワークシート レポート
6月～7月	子どもの発達と過程	・子どもの発達と過程 ＊子どもの精神発達の特徴 ＊乳児観察 保育園・子育て支援センターの乳児の様子を観察し記録する。	○	○		○	a. 胎児の発達の特徴について関心をもっている。 b. 胎児の発育・発達には、母体を中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c. 胎児の発達の観点から、親のとるべき行動を推察し、母性・父性の関わり方に生かすことができる。 d. 胎児の身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 ワークシート 実習記録
		1学期期末考査		○		○		定期考査

8月～9月	子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 ・生活と健康 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a. 発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。 b. 子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c. 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 d. 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。 	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表
10月～12月	生活と養護	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の生活 ・栄養と食事 *離乳食実習 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a. 子どもに対するイメージを膨らませ実践的・体験的な学習を通して学習に取り組もうとしている。 b. 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 c. 子どもの生活や遊びについて調査・観察したことをまとめ、発表することができる d. 子どもの生活の概要を理解している。 	授業観察 ワークシート レポート 実習記録
		2学期期末考査		○		○		定期考査

1 月 ～ 3 月	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的支援の必要性 *子育て家庭が直面する課題 *子どもをとりまく社会的支援の背景の把握 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a. 子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもっている。乳幼児期における発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。 b. 子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c. 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。 d. 子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。新生児期から乳児期までの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。 	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査
		学年末考査		○		○		定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ *は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。